

# 平成 16 年度 日本技術士会 会長表彰



## 会長表彰を受賞して

高橋 陽一 (建設部門)

### 略歴：

支部幹事 (H9～H14)  
有資格者増強委員長 (H5～H6)  
センター副会長 (H7～H8)  
センター会長 (H9～H14)  
センター顧問 (H15～現在)

6月23日総会で表彰を受けました。受賞の理由は「会の発展に貢献した」と言うものです。私は1967(昭和42)年合格以来、道内におけるこの国家資格者の定着と活用拡大を図ることを目途に次の3点を常に念頭に置いて行動して参りました。1) 道内の合格者数を人口比(5%)まで増やすこと。2) 国内、海外に向けて発言、発表を通じて積極的にこの資格の存在意義を示すこと。3) 一般市民や行政との接触を活発に行い情報を共有すること。

この30年間に私の願望は大きく前進しましたがまだ満足できる実情ではありません。私は近年身体の回転が鈍くなりましたが、口の回転と技術への好奇心はまだどうにか現役ですので、今後とも道内の同志(士)の為になし得る事に汗を流したいと考えております。それが、ご推挙頂いた皆様への私の感謝を込めた責務であると思います。有難うございました。



## 日本技術士会会長表彰を受賞して

久保 宏 (建設/総合技術監理部門)

### 略歴：

業務企画委員会  
技術士試験部会長 (H9～H10)  
技術士試験委員長 (H11～現在)  
支部幹事 (H11～現在)

この度、日本技術士会の名誉ある会長表彰を受賞させて頂き大変感謝致しております。ここに特別に推薦をして頂いた北海道支部並びに関係者の皆様にお礼を申し上げます。思い起こすと技術士を目指したのは、今から25年前の昭和54年まで遡ります。このときたまたま北大に博士論文を提出した際に指導を受けた先生から、これからの有能な技術者は博士号と技術士の両方の資格を持っていないといけない、との一言からです。

当時、役所に勤務する者は試験に合格しても技術士登録もできませんでしたが、退職後技術士会の仲間に入れていただき、北海道内の技術士を増やす有資格者増強委員会のお手伝いをさせて頂いた。その後、幹事・委員の皆様方の協力のもとに技術士試験委員会の業務を行って今日に至っております。今回の会長表彰はこれらに関係されている多くの技術士グループの代表として受賞したものと考えております。有難うございました。